

平成25年度における大学図書館の概要

図書館活動事業

① 図書資料の収集・整備

本学図書館において、平成25年度の受入を行った結果、累積所蔵数は、図書437,947冊、雑誌2,448種となった。その詳細は、下記蔵書数のとおりである。

※ 蔵書数（平成26年3月31日現在）

ア 図書（累計所蔵冊数）※研究室保管図書含む

区分	和書	洋書	計
中央図書館	277,938冊	78,280冊	356,218冊
日進図書館	66,347冊	16,784冊	83,131冊
計	344,285冊	95,064冊	439,349冊

イ 学術雑誌（累計所蔵種数）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	1,451種	660種	2,111種
日進図書館	183種	154種	337種
計	1,634種	814種	2,448種

ウ 年間図書資料受入数（製本雑誌、寄贈図書、移管受入図書を含み、廃棄資料は含まない）

区分	和書	洋書	計
中央図書館	5,776冊	1,273冊	7,049冊
日進図書館	966冊	419冊	1,385冊
計	6,742冊	1,692冊	7,434冊

エ 視聴覚資料

区分	平成25年度受入数	計
中央図書館	98点	18,781点
日進図書館	59点	3,150点
計	157点	21,931点

②ラーニングコモنزの設置

平成25年11月8日、大学図書館内にラーニングコモنزを設置するため、平成25年度「私立学校施設整備費補助金」（「施設」及び「設備」の2件）の交付申請（9月上旬）を行い、採択の内定通知をいただいた。さらに、11月12日には、文部科学省より上記整備事業のうちの「設備」について申請したタイプの増額を希望する私立大学等への追加申請の募集があり、本学においてすぐさまこれに対応すべく書類作成にとりかかり、企画課を通して11月28日に申請を実施した。

大学図書館にラーニングコモنزを設置する意義は、学生が自ら発見した課題を解決するために基礎的な知識や技術を習得し、それらを駆使しながら集団の中で主体的、能動的に課題解決を図ることで、生涯学び続ける自立した主体的な学び手を育成することにある。そのためには、授業時間以外の学生の学修時間において、学びのプロセス全体を学生自らが計画できるような学習環境を提供することが前提になる。図書館にラーニングコモنزを設置するこの取組は、以下の3点について促進し深化することを具体的な目的とする

1. 本学の教育理念「人間になろう」に基づいた教育を授業時間以外での、学生の学修時間においても実践可能とする。
2. 従来図書館で実施してきた「図書館ツアー」や「データベース活用講座」などの利用教育を学生の主体的、能動的な学修活動に連動させ、学生自身が実践可能な学修環境を創造する
3. 「椋山女学園大学教育改革2013」におけるシラバスとの連動により、学生の事前事後学習でのアクティブ・ラーニングを学生自らが主体的に計画し実践することで学びの質を高める。

本学の教育理念「人間になろう」は、人との協調・連帯を大切にし、自ら考え学ぶことにより自主性・主体性を持って意思決定をし、物事を実行できる人間を育成することを目的としている。ラーニングコモنزを設置することで、授業での課題作成やレポート、卒業論文作成の事前、過程、事後と全ての学習プロセスにおいて、学生自らが主体的かつ能動的に図書館内のさまざまな情報源となる資料やデータベースなどを自ら選択し情報収集を行い、必要な情報を選択し整理し、自分の知識構造の中に取り込み再構造化を行い、新たな知識を創造するという知的生産を計画的に実行できる。また、その成果を学生同士が共有し、ディスカッションを行うことが可能な機能を併せ持つことで、人と協調しコミュニケーションをとりながら学修を進め、

共に学び合いながら知識を定着させるということをも可能とする。

また、図書館においては、情報探索入門の入門編とレポートや卒業論文作成のための情報収集を集中的に行う専門編という2種類のオリエンテーション「図書館ツアー」を毎年ゼミ単位で実施してきた。さらにより学問領域での知識を深めるために専門領域におけるデータベースの活用を促進する「データベース活用講座」や、学生の読解力と表現力育成を目的とした「ビブリオバトル」など、さまざまな学修支援活動を実施してきた。しかし、現在の図書館では、学生がこれらの学修支援活動の後に主体的かつ能動的に学修活動を展開する場所がなく、学修資源のない学部棟の控室などで学修活動を行わなければならなかった。しかし、ラーニングコモンズに学修の動機づけともなるすべての情報源サンプルを展示し、全ての情報源から情報探索を行うと共に知的生産も行えるタブレット端末30台、ディスカッションやプレゼンテーション準備などが可能なスペース、学修形態によって変更可能な設備、いつまでも滞在可能な読書スペースなど、さまざまな設備、機能を持たせることで、学生自身がいつでも自分の学修環境をデザインできる。このことは、従来の学修支援活動をより促進し深化させ、学生の学びの質を高めることに貢献する。

上記の1階西半分のラーニングコモンズ空間工事（第一期工事）及び1階東半分、2階、3階、B階の改修・設置家具等（第二期工事）は、ともに25年度中に工事等を全て完了し、26年3月20日から運営を開始した。

利用者サービス状況

区分		中央図書館		日進図書館		
		平成25年度	平成24年度	平成25年度	平成24年度	
開館日数		248	286	258	280	
入館者数		85,757	88,641	65,553	34,400	
貸出冊数		38,785	38,188	11,924	11,769	
相互協力	文献複写	依頼件数	1,272	1,122	148	163
		受付件数	655	574	280	296
	閲覧	依頼件数	6	5	4	4
		受付件数	504	457	69	93
	現物貸借	借用	40	50	24	5
		貸出	29	29	4	11